

文部科学省におけるこどもファスト・トラックの取組

○ 国立文化施設における取組について

① 既に実施済みの取組

東京国立博物館（東京都台東区）での試行

実施日：令和5年3月26日（日）

実施内容：

キッズデー開催日に合わせ、こども連れの方へのチケット売場への優先案内や専用レーンの設置、券売機・窓口の一部を「こども連れ専用窓口」とするなどの運用をした。

対象：小学生以下のこども及びその同伴者

当日の来館者の状況：

当日の総合文化展来館者は5,000名弱であり、海外からの来館者が多く、正門チケット売場には常時20～30分の待ち列が発生していた。

効果：

一般のチケット売場に購入待ちの列ができる中、優先案内によりこども連れの入場にかかる時間を短縮する効果があった。

試行をしたうえでの課題：

視認性の高い看板の作成・設置、体制の確保、こども連れ専用設置に適した展覧会や時期の選別等が必要と考えられ、対応を検討中。

② GWに向けての取組

国立アイヌ民族博物館（北海道白老町）

令和5年5月頃の実現を想定し、ウポポイへの入場混雑時に妊婦やこども連れ（小学生以下）が優先的に使用できる券売機の設置を検討中。

国立科学博物館（東京都台東区）

常設展示入口において、こども連れ優先レーンを設置するなどの試行的取組を予定しており、GW期間中の本格実施を検討中。



国立アイヌ民族博物館



国立科学博物館

③ 夏季に向けての取組

国立美術館や東京国立博物館において、多数のこどもやこども連れの来館者が見込まれる展示やイベントに合わせて、こどもやこども連れを優先的に案内する取組を検討中。

○ その他の施設における取組について

日本科学未来館

令和5年5月のGW以降での常設展入場の際の実施を想定し、チケットの購入において未就学児のこども連れの場合、優先的なチケット購入を呼び掛けることを検討中

国立民族学博物館

令和5年9月頃の実現を想定し、妊婦やこども（中学生以下）連れを優先的に受け付ける仕組みの導入を検討中